

レクリエーションで交流を深める

婦人ページェント

第7回松浦市婦人ページェントが5月20日、不老山総合公園で開催されました。

松浦市地域婦人会連絡協議会（榎元あや子会長）が、家事に追われる日常を忘れ、会員相互が交流を深めることを目的に毎年開催しています。

この日は、会員約100人が参加。グラウンドゴルフ、輪投げ、がんばらんば体操などを行い、運動で体を動かしながら楽しいひとときを過ごしました。



松浦市選手団が大活躍！

第12回長崎県障害者スポーツ大会

第12回長崎県障害者スポーツ大会が5月27日、長崎市総合運動公園かきどまり陸上競技場を主会場に開催されました。

本市からは、障害種別ごとの短距離走やソフトボール投げなどの投てき競技、ユニカール競技など6種目に33人が出場。家族や応援者からの声援を受け、熱戦が繰り広げられました。

本市出場選手の上位成績は次のとおりです。

【個人】1位＝11人 2位＝5人 3位＝3人



まちの話題

Matsuura City Topics

市のイメージアップに一役

志佐町婦人会

志佐町婦人会（榎元あや子会長）が5月19日、松浦バイパス松浦大橋付近の海岸を清掃しました。

この活動は、観光バスなどの通行が増えるこの時期に、少しでも松浦の印象を良くしようと、地域のための奉仕活動として毎年実施しています。

この日参加した会員15人は、沿道の空き缶や海岸に漂着した流木などのゴミ拾いを中心に早朝からの約2時間、清掃作業に汗を流しました。



こどものいえに遊具のプレゼント

西日本プラント工業労働組合長崎支部

西日本プラント工業労働組合長崎支部が5月19日、『こどものいえ』に寄付を行いました。

組合員の一人が、『こどものいえ』の電気工事を担当したのがきっかけで寄付を思い付き、組合員それぞれが絵本やおもちゃを持ち寄り、地域貢献活動として行ったものです。

この日は、西日本プラント工業労働組合長崎支部の役員7人が『こどものいえ』を訪れ、子どもたちに絵本など約400冊のほか、ぬいぐるみ約50個やおもちゃなどを渡しました。

『こどものいえ』を利用している子どもたちは、元気に「ありがとうございます」とお礼を言った後、早速、寄付された絵本やおもちゃで楽しそうに遊んでいました。



やさしい音色に包まれて

宝くじまちの音楽会『南こうせつ with ウー・ファン 心のうたコンサート』が5月27日、文化会館で開催されました。このイベントは宝くじの助成を受けて開催されたものです。

コンサートは2部構成で開催され、1部では、フォークソング界を代表する歌手の南こうせつさんと中国古箏の演奏者のウー・ファンさんによるライブステージがあり、「神田川」や「夢一夜」などの往年の名曲も披露。こうせつさんの透明感のある歌声と古箏の穏やかなやさ



しい音色で観客を魅了しました。

また、2部では、市内のコーラスグループ5団体が、南こうせつさん、ウー・ファンさんと共演し、「故郷」と「愛よ急げ」の2曲を合唱しました。心地よいハーモニーが会場内に響きわたり、曲が終わると観客から大きな拍手が送られました。

この他にも宝くじPRの抽選会が行われ、観客の中から約100人にオルゴールが送られました。



市内各地でホタルが乱舞

ホタルの鑑賞会

5月中旬から6月上旬にかけて、市内各地で多くのホタルが飛び交いました。

5月29日には、田代地区グリーン・ツーリズム研究会（岩木保徳会長）が御厨町木場地区を流れる木場川でホタル鑑賞会を開催しました。

田代小学校児童や地域住民など、約40人が参加し、岩木さんからホタルの種類や雄雌の見分け方、生態系を守る大切さなどを教わりました。



松浦の歴史に触れる

松浦党研究連合会総会・研究大会

松浦党研究連合会研究大会が6月2日、鷹島スポーツ・文化交流センターで開催されました。

同連合会の総会では、市教育委員会文化財課の中田あつゆきあつゆき 敦之課長が「海底からよみがえる歴史の証人たち」と題して研究発表を行いました。

また、午後からの記念講演では、鷹島沖の海底で元寇船よしふみを発見した琉球大学法文学部池田榮史教授（写真）を講師に招き、「元寇船の発見と今後」と題して、発見までの経緯や今後の研究方針と保存活用などについて講演があり、鷹島沖の海底に眠る世界的にも重要な発見となった鷹島神崎遺跡の話会場に集まった約500人は興味深く熱心に聞いていました。

